

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
1	1	21	1	教育	いじめ問題・自死問題など、子どもの問題に対応する予算はいくらか。	例えば、スクールソーシャルワーカー活用事業の平成29年度予算は96万4,000円(平成29年6月補正の額、12月の時点で予算総額は927万9,000円)である。いじめ問題等の解消は、単体の事業だけでは不可能であるため、総合力としてのトータルの予算として対応しているが、実行力が弱いのではないかと議会からも指摘している。
2	1	21	1	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの貧困問題やいじめ問題など、気づかない教育関係者が多い。校長をはじめ、教職員は無関心。自己保身ではないか。 ・職員会議等にも生徒・保護者が傍聴できるほうが良い。 ・夜間学校を開校する等、子どものための学校運営・教育体制を作るべきだと感じる。 	
3	1	21	3	住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の少ない中、住民の役割も大きくなっているし、議会・行政の判断も難しくなっていると感じる。 ・予算決定過程や事業の是非など、過程に市民の参画が出来ていないと感じる。このような過程で市民が積極的に参画できる体制が必要である。 ・行政が公募による市民から意見を聞けるよう仕組みを変え、市民の力を借りるとい姿勢をみせるべき。 	意見のみで回答なし 市の担当部署に意見の内容を伝えた。
4	1	21	3	住民参画	市議会として、住民参画等の先進地例など、どのように取り組んでいるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治基本条例を制定しているが、どれくらい機能しているのかといえば、まだまだ課題があると指摘してきている。 ・住民意見を政策に生かすという意味では、例えば除雪計画案については自治連合会からの要望を踏まえた計画となった。しかし、まだ十分とは言えない。 ・「市民の代表」として、多様な意見を反映させることが議員の役割ではあるが、まだ不十分な部分もあると認識しており、いろいろと議論をしているところである。

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
5	1	21	4	議会	<ul style="list-style-type: none"> ・初の議会報告会は評価するが、開催方法として事前に資料公表して質問を募集し、答弁・議論できるものにし、ダイナミックな変革を行ない、スピード感のある議会での議論をするべき。 ・開かれた議会を目指す上で、夜間議会や日曜日議会の開催等を検討すべき。 ・経常収支比率91%の予算も本当に有効に使われているのか。柔軟な考えを持ち、情報公開を行って市民の意見を反映すべきである。また、例えば、情報公開により出される市民の意見に対応できる職員を育成するための能力アップ研修に費用を付けるといった、議会の予算チェック機能の強化も願う。 	<p>市民に開かれた議会としての「議会報告会」を第一歩として、改善していきたい。市議会として、「まちづくり協議会」など立ち上げ、地域の課題に取り組む先進事例も勉強している。今後もさらに勉強していきたい。</p>
6	1	21	4	議会	<p>淀江の産廃問題、高島屋問題等、議会でも質問している議員は少数である。議員一人一人はどのように考えているのか意見を聞きたい。</p>	<p>個人の意見・考えを述べる報告会としていないので、ご了承いただきたい。</p>
7	1	21	4	議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に開かれた議会というのなら、市の大きな課題について、議員と市民が議論し合える環境や機会を設けるべき。 ・予算についても結果を示すのではなく、その前の段階から市民が参加し意見が反映され、議論し合えるものにする事で、開かれた議会と言えるのではないか。 ・一般廃棄物の問題も10年で満杯となるのに、その予算組もされていない。執行部だけでなく議員間でも議論をしっかりとしてほしい。 ・パブコメだけでは意見集約はできない。 	<p>今日を第一歩として、今後、様々な形式での報告会や意見交換会等、様々な手法での開催、意見反映の手法も検討していきたい。</p>
8	1	21	5	福祉保健	<ul style="list-style-type: none"> ・がんサバイバーとして「がん検診」をしっかりしてほしい。 ・国保が県一本化することで、保険証の停止などが今以上に起こり、重症化へ向かうことが懸念される。独自の施策をする必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診についてはこれまでも議会から提言してきている。命を守るために体制づくりのための議論が必要である。 ・国保の事務体系については保険証の交付等、今までと同じ体制で行うとうかがっている。
9	1	21	6	産廃問題	<p>背景はわからないが、右翼の街宣車が産廃賛成を訴えながら淀江町の一部の地域を回っていた。市は推進する方向だが、市民の命や暮らしについて考えてほしい。</p>	<p>不確実な部分が多いので回答は差し控える。</p>
10	1	21	4	議会	<p>議会の会派構成、会派拘束、会派の利点と弊害について伺う。</p>	<p>会派については、議会基本条例で定義されており、国の政党とは違い、住民代表として便宜的に構成している。米子市議会としては効率的に情報伝達・意見集約のために会派の集まりが使われている。</p>

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
11	1	21	4	議会	現在の陳情の受付・取り扱い方法については、一定期間後、検証すべきである。	承って持ち帰る。 現在議会運営員会において、「議会基本条例の検証」を行っており、その中で陳情についての検証も行っている。平成29年度末までにその検証報告を公表する予定としている。
12	1	21	6	産廃問題	賛成の立場の学術意見のみで、反対の立場の学術意見を聞かないのは民主主義に反する。ぜひ、鳥大「吉谷名誉教授」のほか、専門家の意見も聞いてほしい。	承って持ち帰る。 市の担当部署に意見の内容を伝えた。
13	2	18	4	議会	市議会だよりについて、質問議員に対して市はどちらともとれる回答でなく、はっきりした回答をしてもらいたい。	広報広聴委員会で掲載方法を検討したい。 市の担当部署に意見の内容を伝えた。
14	2	18	2	観光	下町ガイドをしているが高齢化し、なり手がいない。こんなことでは観光振興ができない。観光にもっと予算を使ってもらいたい。	意見のみで回答なし 市の担当部署に意見の内容を伝えた。
15	2	18	5	福祉保健	ドクターヘリ、救急車の騒音に困っている。	意見のみで回答なし 市の担当部署に意見の内容を伝えた。
16	2	18	7	指定管理者制度	指定管理者制度の問題について今日いる議員にも関心を持って取り組んで(フォローして)もらいたい。	意見のみで回答なし 市の担当部署に意見の内容を伝えた。
17	2	18	8	防災	校区の放送について、以前は公民館に依頼し放送できていたが、防災無線の更新により電話での録音対応になった。とても不便である。	御意見のとおり、校区内への放送については電話回線による操作に変更となり、専用回線に電話し放送内容を録音後、放送されるようになった。従来に比べ、公民館職員のない休日での放送依頼が簡単になるなど、メリットもありますが、周知が不足していたことにより、関係住民の皆様にご迷惑をお掛けし、大変申し訳ない。担当部局へは御指摘の点について伝え、変更内容等あれば丁寧に伝えるよう指摘している。
18	2	18	8	防災	市は自治会単位の自主防災組織なのか、校区単位の地域防災を目指しているのかどちらなのか。	自主防災組織をわかって頂くことが大事で、組織の活性化とサポート体制を充実させることも必要である。
19	2	18	3	住民参画	自治会活動に市の職員が積極的にかかわってもらいたい。	意見のみで回答なし 市の担当部署に意見の内容を伝えた。

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
20	2	18	9	先端医療都市	先端医療創造都市よなごについて、鳥取大学医学部は米子市の大きな柱である。議員全体で取り組んでもらいたい。	意見のみで回答なし 市の担当部署に意見の内容を伝えた。
21	2	18	3	住民参画	自治会の加入者はいくらか？ 中高生の剣道を城山で行うなど、若い人に米子城の良さを知ってもらいたい。 旧日野橋の記念事業を行ってはどうか。	約6割である。(平成29年4月30日現在で、世帯単位の加入率は62.3%です。) 貴重な意見であり、持ち帰る。
22	2	18	4	議会	淀江の産業廃棄物最終処分場問題について、議場に反対派の住民が押しかけ、会議が開けなかったというニュースを見た。住民の代表である議員の会議については警察を要請してでも行うべきである。延期したことは恥ずかしい。これからはないようにしてもらいたい。	意見のみで回答なし
23	3	16	11	決算	平成28年度決算について、平成28年度の決算にある社会資本整備総合交付金の交付決定による市の最終的な態度決定と対応について伺う。	交付決定の時期や額の確定により、年度途中の補正予算による対応が可能であったかも知れない。あるいは、事業の進捗を図るために他の財源で対応することも判断の一つであったところを議会では指摘した。さらに詳細な事柄や途中経過などについて、後日、改めて報告した。
24	3	16	10	農業	富益地区は、農地などに草がはびこっている。市は、今流行の太陽光発電などに取り組む考えがあるのか問う。	現在、富益地内で、弓ヶ浜駅近くで約13haの基盤整備事業の話が進んでいる。もう一方では、農免道路沿いのJAの共同選果場近くで約1.3haの土地にある農機具メーカーが中心となって荒廃地対策事業のプロジェクトが導入されようとしている。 個々の農地の荒廃農地対策については、この場での回答が出しづらいので持ち帰りとした。
25	3	16	10	農業	市の予算について、農林水産業費の構成割合が1.7%であり低い。	・農林水産業費は、1.7%である。 荒廃地対策事業については、各議員がいろいろな視点で質問をしてきているのは事実である。 ・農林水産業費が低い割合となったのは、当時、市の財政状況が厳しくてライフラインに関わる経費を優先したことによるものである。 ・荒廃農地対策については、5年前と比較すると約70ha減らしてきている。いろいろな対策事業を進めているところである。
26	3	16	12	駐車場事業	駅前駐車場特別会計では約5億6千万円の赤字であり、今後の方策を聞かせてほしい。	駐車場事業会計は、長年の蓄積で赤字額が膨らんできている。市が駐車場を整備した後、周辺の商業施設なども駐車場をつくり出したことで赤字を生み出すこととなった。

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
27	3	16	13	公民館運営	公民館運営について、全国の例ではまちづくり協議会を立ち上げて、やっている所があり、米子市でできないか。	全国の事例を見ても住民自らが考えてまちづくりを進めていこうとする機運があり米子市議会でも議員がいろいろ意見を出してきている。
28	3	16	4	議会	議員の皆さんは、選挙戦に出馬された時、まちづくりは自分に任せてと言って当選されたのできちんと具体例を示してほしい。	意見のみで回答なし
29	3	16	5	福祉保健	国民健康保険会計について、高齢化により医療費がどんどん増えている。本市の財政が逼迫するのではと思う。公債費も64億円ある。安倍総理も言っているように子々孫々まで負担させられない。	国保会計について、米子市民の2割が被保険者として加入されている。医療費指数というものさしがあって県内で米子市は、中位である。また、単年度では赤字にならなかった。平成30年度に、国保会計は鳥取県一本化される。特会と一般会計との会計上の処理手続きをすることもある。ここでそのことについて具体の中身の説明をすることは難しい。
30	3	16	1	教育	小学校の空調設備の設置について、私の住んでいる富益町の弓ヶ浜小学校にも、近くの和田小学校にも未設置である。そこで議会ではどのような認識か伺う。	<ul style="list-style-type: none"> ・和田小、弓ヶ浜小の普通教室にはエアコン装置がない。和田小学校の場合は、過去のことであるが地元からの要望事項としてしっかり取り組めなかったように聞く。中四国防衛局の話だと財源確保が厳しい状況にあるという。しかし、このような要望は継続していく必要がある。 ・防衛省の補助事業うんぬん関係なく施設整備を図らなくてはならないと思う。 ・議会としては、補助メニューあるなしではなく冷房設備の要望をしていく。 ・市の過去の財政運営が大変厳しいことがあった。議会も今まで以上に頑張っていきたい。
31	3	16	14	交通	高齢化社会のもと、米子市の市街化区域では、だんだんバスが運行しているが、浜のほうにはないので、計画があるか聞きたい。	このような路線バスや循環バスの運行について、定期的な会議で検討中である。
32	4	20	4	議会	議会報告会の開催時間について、議員だったら意見を聞いて時間をとることじゃないか。淀江は産廃などいろいろな問題がある。時間延長も考えてもらいたい。	時間を延長し、午後8時50分まで行った。
33	4	20	6	産廃問題	産廃予定地の下に農地を持っているが、米がどうなるか心配している。小波上の泉の整備が進んでいるが、水汲みをしている人に聞くと「産廃ができれば汲みに来ない」と言っていた。	意見のみで回答なし 市の担当部署に意見の内容を伝えた。

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
34	4	20	15	米子駅南北自由通路	米子駅南北自由通路の計画が進んでいるが、なぜJRに30億も払うのか。そういうことを議員は話し合ったことがあるのか。なぜ米子市が建てたものがJRのものになるのか。なぜ賃料を払うのか。わからないなら反対すべき。	南北自由通路については、55億円という数字が出ている。議決したのは設計委託料等が約1億2千万円である。ここから先、JRの負担がどの程度になるのか考える必要がある。
35	4	20	16	米子城跡	城山が史跡ということで、なぜ米子市の税金を使って土地を買って保存するのか。	米子城跡の整備基本計画は作成中であり、予算がまだ出ていないので、今後きちんと見ていきたい。
36	4	20	6	産廃問題	産廃の問題については、質問をしているのか。	市から県に条例に基づく回答書が行っている。米子市からは自治会のほうで合意できていない人がいるということを行っているので、県がどう説明するか注視をしている。
37	4	20	6	産廃問題	産廃の問題について注視していない。議会で議論しないとイケない。安全性の担保ができていないのに、なぜ議論するような提言しないのか。我々は何回も質問してくださいと言っている。産廃について発言しない議員は、なぜ発言しないのか説明してもらいたい。各議員個人の立場で答えてもらいたい。	産廃の問題については、全員協議会での意見をもとに市長が県に回答をした。議会で大方の合意ができていない内容の発言は控えたい。
38	4	20	6	産廃問題	議員として市が何をしているのかチェックする必要がある。市長の言いなりではおかしい。各議員個人の立場で答えてもらいたい。	個人の意見を聞きたい方もあると思うが、県が計画をどうするのかはこれからである。また、産廃計画地の土地の問題はこれからであり、判断を求められる場合には議員が議論しなければならないと思っている。
39	4	20	6	産廃問題	条例でセンターが進めているということだが、そのための経費を県が何億使っているのかわかるか。既に1億5千万円、1億6千万円投資している。それを米子市は土地を提供しないと言うのか。	莫大なお金と思うが、金額は承知していない。最終的には議会の中で判断する。二元代表制なので、出てきたときに侃々諤々(かんかんがくがく)の議論をする。
40	4	20	6	産廃問題	産廃の問題について、他の議員からも意見を聞かせてもらいたい。	市の説明責任が果たされてなかったという実態を感じる。市は様々な意見を調整して進めていく。その中で事業に対して賛否が拮抗することがあると思う。民主主義の限界というものも感じざるを得ない。
41	4	20	6	産廃問題	産廃の問題について、一般論は聞いていない。個人の意見はどうなのか。	意見を聞きたいというのはわかるが、議会でまとまったものを報告するのがこの報告会の趣旨である。
42	4	20	6	産廃問題	産廃の問題について、副議長の意見を聞きたい。	今日は個人の意見を述べる場ではない。いただいた意見は真摯に受け止めて持ち帰りたい。今日は議会としてまとまった意見を言う場である。

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
43	4	20	6	産廃問題	鳥取県環境管理事業センターへの不信感が詰まっている。全員協議会でのセンターの説明を聞いてどう感じたか。協定書もあるのにどんどん話が進んでいる。我々は子どもたちのために一生懸命やっている。市長が意見を出す格好になった。あれを出したら県が動き出す。やりたい側のテーブルに乗ってしまった。止めるのが議員の役割だ。	全協の感想については、個々人の感想となるので控えさせていただく。
44	4	20	6	産廃問題	条例に基づく意見書・見解書・再意見書・再見解書を読んだ人はいるのか。	閉会中で毎日議会に行っていないが、配布されたものには目を通している。ただ、自分のものとしているかは自信がない。この地域における問題の大きさを感じている。
45	4	20	6	産廃問題	センターの見解書はなっていない。センターの回答はゼロ回答。根拠が書かれていない。そのことに気付いたか。センターに根拠を示すように、市議会から伝えてほしい。	伝えておく。 (12月15日、安田班長から米子市環境政策課にご意見・ご要望を伝え、同日、米子市環境政策課から公益財団法人鳥取県環境管理事業センターへ伝えました。)
46	4	20	6	産廃問題	産廃についていろいろところで説明会が開かれている中で、昨日は右翼の宣伝カーも入ってきている。議員は何が起こっているのか考えてほしい。	意見のみで回答なし
47	4	20	4	議会	今日の議会報告会はどういった経緯で行われたのか。	議長の公約で取り組んだものである。
48	4	20	6	産廃問題	産廃問題が出て4年も経っている。遅い。私は産廃反対である。市の回答書の内容は、後は県によるしくという丸投げみたいな回答になっている。それは議会でもよしとしているのか。	米子市から県への回答には全員協議会で出た意見を全て網羅している。議会としても地元の方々の反対の意見がたくさんあるということで、県に対してもう少し丁寧な説明をするようにという意見書的なものを作成し、出さないといけないのではという動きになっている。
49	4	20	6	産廃問題	安全性の問題、水道水汚染のリスクである。吉谷先生も汚染のリスクがあると言っている。市としても調査して回答すべきである。それが市の役割ではないか。	市として確認が必要だということは、市に伝える。
50	4	20	6	産廃問題	環境審議会への諮問もお願いしたい。	このことについては、我々も協議していきたい。

H29議会報告会意見・要望・回答の概要

No.	班	日	項目	意見・要望	回答・対応	
51	4	20	6	産廃問題	議員が憎くて言っているわけじゃない。安全性について納得したい。市議会の権限として、してもらいたくてこの場に来た。これらの声を持ち帰って反映してもらいたい。全員協議会の傍聴の方式が変わった。立ち見は入っているのか。	議長からの提案である。持ち帰って検討したい。 (検討した結果、議場で開催される全員協議会は、議場施設の実態に合わせ、傍聴者の定員を60人と定めています。立ち見はできませんので、ご了解ください。)
52	4	20	6	産廃問題	生煮えの状態が終わったら意味がない。市の回答書の県やセンターでの取り扱いについて議会に報告はあるのか。全協の後に、市長は賛成の意見があるとインタビューに答えたが、このことについて議会に報告はあるのか。	賛成の意見は市長からの示唆はない。来るべきときに説明があろうかと思う。今の時点では受けていない。
53	4	20	6	産廃問題	最初の小波上の泉の整備の質問に答えていない。産廃ができるとわかってから整備が始まったが、なぜ工事をしたのか。	当局でないのかわからないが、市に聞いてみたいと思う。 市の担当部署に意見の内容を伝えた。